



ウトナイ中だより

令和7年 8月29日(金)発行
令和7年度 第5号

校訓
文武両道

学校教育目標
創造 自律 挑戦

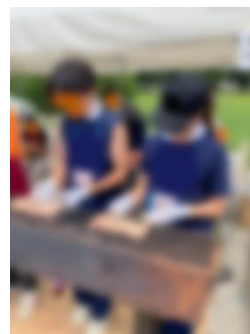
夏休みを振り返る ～とにかく驚きました～

苫小牧市立ウトナイ中学校長 山 岸 弘 昇

2学期が始まりました。この夏休みを振り返りますと、まず、最初に思い出されるのが7月30日(水)にカムチャッカ半島沖で発生した地震により津波警報が発表され、それに伴い苫小牧市内の学校が避難所として開設されたことです。当日、本校には例年実施している講習会(協力:明光義塾様)に参加するために140名の生徒が登校していました。また、三者懇談や二者懇談のため保護者も数名来校していました。そうした状況の中で突如、津波警報の発表がなされ、避難指示が出されたことから、すべての活動を中止し、避難所としての対応に切り替えました。津波の到達に備えた対応であることから、避難者を3階に誘導し、各避難者の年齢、性別、健康状態、ペットの有無など、状況に応じて待機していただく場所を指定させていただきました。不便な思いをさせたかもしれませんが、全避難者が状況に理解を示してくださったおかげで、避難指示の解除まで混乱なく運営できました。ライフラインが確保された中での避難所運営でしたが、非常変災時の対応を考える(見直す)教訓になりました。その他、長期休業中の出来事を記述しましたのでご一読ください。2学期もよろしくお願いいたします。

貢献する ～人の役に立つ(ボランティア活動への参加を通して)～

7月27日(日)には北栄まつりが、8月9日(土)にはウトナイまつりがそれぞれの町内会の主催で行われました。お祭りの運営は各町内会の大人たちが担っていますが、人手を確保したいとのことから、学校にボランティアを募る案内が寄せられました。地域活動推進委員会が窓口となり、本校生徒の有志がボランティアとして参加しました。私も両方のお祭りに顔を出しましたが、町内会の皆さんからは「本当によく働いてくれています」「何か他に手伝うことはありますか」と声をかけてもらって頼もしかったです」といったお褒め(感謝)の言葉をいただきました。学校外で見せる生徒の生き生きとした姿にも関心しました。また、



地域の子どもは地域で育てるという町内会の心意気も強く感じました。参加した生徒たちは、次の機会があれば、またお役に立ちたいと考えていることでしょう。子どもたちと地域の大人たちとのこうしたふれあいを通して、**地域を支える担い手が育つ**のだと改めて感じたところです。

平和について考える ～戦後80年をむかえて～

毎年8月は戦争の記憶を風化させず、**平和について考える**日が続きます。8月6日は広島に原子爆弾が投下された日、8月9日は長崎に原子爆弾が投下された日、8月15日は昭和天皇がポツダム宣言受諾をラジオを通じて国民に発表した日です。終戦から80年という節目の年を迎え、各メディアでは戦争に関して多くの特集が組まれ放送されました。私(校長)を含め戦争を知らない世代が大勢を占める中、戦争経験者が発する体験談や教えには大変重いものがあります。ただ、世界に目を向ければ、国家間による戦争、紛争、民族間による内戦など、人間同士の争いが絶えない現実があります。この期間、戦争や平和についてご家庭で話題になったと思いますがどのようなお話しをされたでしょうか?

今が戦後80年ではなく、新たな戦争の前ぶれ(=戦前)と、後世の人たちに言われたいよう、また、平和な社会を引き続き享受できるよう、私たちにできることは何かを考える必要があります。**人や命が大切にされる社会**であってほしいです。

歌声響く ～合唱部発表～

8月19日(火)、音楽室にて合唱部による発表会が行われました。本来であれば7月31日(木)に出場予定だったNHK全国学校音楽コンクールが、前述の津波警報発表の影響により延期になったことから、やむを得ず参加を辞退することになりました。それでも、これまで準備してきた曲を披露したいとの部員たちの思いを形にすべく、今回の発表会実施に至りました。当日は部員のご家族や教職員20名ほどが参観する中、7名の部員たちが1曲に思いを込めて歌いました。

2学期の展望 ～教育目標を意識して(生徒のこんな姿を見たい)～

2学期は全校行事として文化祭があります。演劇や展示の各部門に分かれた活動の他、学級対抗による合唱コンクールなど、集団として目標を定めて協働する活動があります。また、2年生では職場体験、3年生では学力テストや体験入学など、自分と向き合い、進路実現に向けた取組が本格化します。今こそ、本校の校訓である文武両道や、教育目標である創造・自律・挑戦をより強く意識して学校生活に臨んでほしいと思っています。このことは始業式に生徒に伝えています。

創造…未来に向け、よりよい自分をつくり上げる(自分の進路を自分の意思と行動で実現する姿)

自律…自ら考え、責任を持って行動する(他者との関わりの中で、自分の言動をコントロールする姿)

挑戦…強い心と体で困難に立ち向かう(自分の力量を高めるために努力する姿)

健康管理について ～熱中症予防、感染症予防～

1学期の終業式で、2学期以降も厳しい残暑に見舞われることが予想されていることから、暑さ対策については、略装や水筒(飲み物)の持参のほか、身体を冷却するものの持参について、**各自で要不要を判断**して構わない旨を伝えております。具体的にはうちわ(扇子)やハンディファンです。ただし、持ち物の管理はあくまでも**自己管理**であること、また、リチウムイオン電池が内蔵されているものについては取扱に十分注意することを伝えております(落下による衝撃や破損によって発火の危険性があるとのことです)。また、ここ最近話題に上がっていなかった、新型コロナウイルスについて、オミクロン株の変異種である「ニンパス」の感染者が増えてきているとの報道もあることから、手洗いを徹底すること、風邪症状が出たらマスクをする、体調を崩したら無理をしないといった基本的な衛生管理に留意することも2学期始業式で伝えております。

令和7年度胆振教育講演会のご案内

今後、苫小牧市からも案内があるかと思いますが、「不登校やゲーム依存など、児童精神科医療の現場でおきていることと、その予防に役立つこと」という演題で、医療法人社団 圭泉会 旭川圭泉会 病院 精神科診療部長 佐々木彰氏を講師として、10月28日(火)17:30～19:00 文化交流センターにて行われます。

定員は360人で先着順となっております。

右が申し込み専用フォームのQRですので、希望の方は申し込みをお願いします。



9月の主な行事予定

- 1日(月) 教育実習開始(9月26日まで)
- 5日(金) 避難訓練(地震・津波)
- 10日(水) 3年学力テスト(総合A)
- 17日(水) スクールカウンセラー(午前)
- 18日(木) 文化祭①
- 19日(金) 文化祭②
- 25日(木) 非行防止教室(2年) 集金日
- 26日(金) 英検
- 29日(月) 一斉委員会
諸費口座振替日

発行者 苫小牧市立ウトナイ中学校 校長：山岸 弘昇 編集責任者：児島 芳之(教頭)
苫小牧市ウトナイ北2丁目5番1号 電話 (0144)57-6451 FAX (0144)57-6452